

山雲水月

発行責任者 龍源寺 住職 渡辺龍道



平成18年 住職年頭挨拶

謹賀新年

「初心不可忘
(初心忘れるべからず)」
せあみもときよ
世阿彌元清『花鏡』より



室町時代に活躍をした能の大家である世阿彌元清の言葉を紹介し、よく入学式や入社式、結婚式などで使われることが多いので知っている方も多いかと存じます。しかし本来の意味は「修行や学業仕事など、物事を始める時に立てた目標や志、その時の思いの様を忘れてはいけぬ」ではなく「物事を始めた頃の未熟で失敗ばかりであった時の記憶—その時に味わった屈辱や悔しさ、そこを切りぬけるために要した様々な努力など、を忘れてはならない」という意味であります。

どんな時にも必ず初心があります。経験が浅いもの、今だ習得しきれないものというのは、命という有限と時間という無限がある以上は果てることありません。初心忘れれば初心に戻ってしまいます。戻ることなく、慢心妥協せず、日々是精進。

皆様に於かれましては、本年も宜しくお願い申し上げます。

平成18年 年回表

一周忌	平成十七年	二十三回忌	昭和五十九年
三回忌	平成十六年	二十七回忌	昭和五十五年
七回忌	平成十二年	三十三回忌	昭和四十九年
十三回忌	平成六年	五十回忌	昭和三十二年
十七回忌	平成二年	百回忌	明治四十年

※1 以上、各ご家庭に於いてご確認下さい。

※2 該当檀信徒各家には封書にて通知が届きます。

平成18年 龍源寺年間行事予定

- 1/1~1/3 年頭祈祷
- 1/3~1/7 年始挨拶
- ※2/3 大節分会
- ※2/15 涅槃会
- ※3/12 大般若・大施食会
- ※3月中旬 筆供養法要
- 3/18~3/24 春季彼岸会
- ※4/8 降誕会(花祭り)
- 4/29 大施食会兼蚕影山例祭法要
- 7/13~7/16 県外檀信徒棚経
- ※7月下旬 第25回子供禪の集い
- 8/13~8/16 孟蘭盆会
- 9/20~9/26 秋季彼岸会
- ※10月中旬 参拝研修旅行
- ※12/8 成道会
- ※12/31 除夜会
- ※毎週土・日曜日 書道教室
- ※毎週水曜日 定期坐禅会
- ※隔週水曜日 梅花講稽古・華道教室
- ※は御本寺仁叟寺にて開催

れきだいじゅうしよくぼち

じぞくぼちかいしゅうこうじほうこく

歴代住職墓地及び寺族墓地改修工事報告

当寺の歴代住職墓地と寺族墓地の改修工事をご報告いたします。この工事は昨年9月に臨時の総代役員会の了承を受け、

ぼっこんいれい

抜魂移霊供養法要を行いましたから11月3日より工事を開始い

こうわ

たしました。施工は、当寺とも縁の深い吉井町長根の(尙)幸和

せきざい

さるすべり

石材さんに依頼いたしました。ほか百日紅などの移植工事には柿田緑化さんにお世話になりました。また工事にあたり当山二十八世住職でありました仁叟寺東堂老師はじめ同じく二十九世でありました前住職の仁叟寺住職老師には物心両面共に大変お世話になりました。この場をお借りして厚く感謝申し上げます次第です。

歴代住職墓地は当寺墓地の一番奥まった場所にあります。本来ならば27基の墓石がないといけないのですが、現存する墓碑は十数基。足りない墓石は新たに購入し、また

ほうとう まも

周囲の環境を整備して、360年以上の法灯を護り伝えてき

ほうおん

た歴代の住職さまに感謝と報恩の

ささ

念を捧げました。また併せまして約十数基ほど現存する弟子墓地の整備と寺族墓地の整備を行いました。

この墓地の開眼法要は今年4月29日

↑ 完成間近の歴代住職墓地

に行われる大施食會、蚕影山御祈禱會と併せて執り行う予定であります。当寺の歴史を伝え、法を護ってこられた歴代の住職さまはじめ縁に繋がる方々に、檀信徒の皆様は是非とも感謝と真心の焼香をしていただきますよう、お願い申し上げます。

←百日紅の移植作業風景

龍源寺探索-13-

おだ

穏やかな表情の観音さま→

まつ

今回の龍源寺探索では、当寺本堂に祀られている正観音さまを紹介

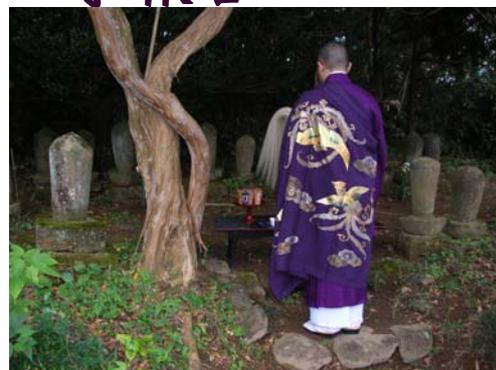
めい きさい

いたします。この正観音さまは佛像では珍しく裏面に銘が記載されております。『西上州多胡郡長根村奉造立正観音宝殊山松林寺現住猷津代』とあり、元々は長根村（現在の吉井町大字長根）にありました松林寺の佛様であるかと思われま

げんこくしょうさく

す。松林寺は仁叟寺の末寺で、当寺二世住職であり仁叟寺十一世住職であった眼國相朔大和尚が開山。明治期に廃寺になっており詳細は不明であります。こういったご縁で当寺に祀られているのではないかと思われま

す。蓮を持ち彩色木製。穏やかな表情をした観音さまです。本尊さま脇に祀られております。お参りください。



↑ 工事開始に先立ち歴代住職及び寺族墓地にて報恩供養を行う



この墓地の開眼法要は今年4月29日に行われる大施食會、蚕影山御祈禱會と併せて執り行う予定であります。当寺の歴史を伝え、法を護ってこられた歴代の住職さまはじめ縁に繋がる方々に、檀信徒の皆様は是非とも感謝と真心の焼香をしていただきますよう、お願い申し上げます。

↑ 完成間近の歴代住職墓地

←百日紅の移植作業風景

龍源寺探索-13-

おだ

穏やかな表情の観音さま→

まつ

今回の龍源寺探索では、当寺本堂に祀られている正観音さまを紹介

めい きさい

いたします。この正観音さまは佛像では珍しく裏面に銘が記載されております。『西上州多胡郡長根村奉造立正観音宝殊山松林寺現住猷津代』とあり、元々は長根村（現在の吉井町大字長根）にありました松林寺の佛様であるかと思われま

げんこくしょうさく

す。松林寺は仁叟寺の末寺で、当寺二世住職であり仁叟寺十一世住職であった眼國相朔大和尚が開山。明治期に廃寺になっており詳細は不明であります。こういったご縁で当寺に祀られているのではないかと思われま

す。蓮を持ち彩色木製。穏やかな表情をした観音さまです。本尊さま脇に祀られております。お参りください。



しんぼちぞうえいこうじかんりょう

仁叟寺通信-16- 新墓地造営工事完了

仁叟寺の新墓地の拡張と新規の墓地の分譲を行います。

竹林の北側を新たに墓地として、昨年11月より富岡市のタルヤ建設(株)さんに依頼し、造成工事を進めてまいりました。新規墓地は54区画です。また旧墓地の分譲墓地もまだ空きがございます。ご兄弟やご親戚、知人の方々などにお話しをいただき、この機会に是非お求め下さい。詳細などお問い合わせは仁叟寺までお願いいたします。

●仁叟寺新規墓地分譲区画●

6尺×6尺区画	34区画
6尺×9尺区画	17区画
6尺×9尺区画	3区画



蚕影山御祈禱會及び大施食會法要について



↑講演会の様子(昨年)

演を賜りました。本年は左記記事にございます歴代住職墓地と寺族墓地の開眼供養を檀信徒の皆様方と共に執り行わせていただこうと思っております。正保3年(1646)の開山以来、360年以上の長い間、三十代に亘り法灯を護って来られた歴代住職さまはじめ縁に繋がる方々の報恩の念を改めて認識していただきたく存じます。

今年も4月29日(祝日、みどりの日)に当寺大施食

會こかげさんを行う予定であります。また、昨年同様に蚕影山大権現たいこんげん様の例祭れいさいと併せて行います。追って通知が届くかと思えます。宜しくご協力の程、お願い申し上げます。

一昨年は式の前に住職と親交のある福島県原町市の新祥寺副住職しんしょうじである野田精頭師せいけんのご法話、昨年は当寺開基の門奈六左衛門かいき もんなろくざえもんの子孫にあたる窪田広氏くぼたひろしに歴史講演

を賜りました。本年は左記記事にございます歴代住職墓地と寺族墓地の開眼供養を檀信徒の皆様方と共に執り行わせていただこうと思っております。正保3年(1646)の開山以来、360年以上の長い間、三十代に亘り法灯を護って来られた歴代住職さまはじめ縁に繋がる方々の報恩の念を改めて認識していただきたく存じます。

供養台帳の作成にご協力ください



昨年11月20日に行われました龍源寺総代役員会にて正式に決定いたしました『檀信徒供養台帳の作成』についてご理解とご協力をお願い申し上げます。当寺は明治26年(1893)に火災に遭い本堂伽藍文書など全て焼失してしまいました。過去帳は幸いにして一部のみ無事でありましたが、他の資料は焼失。完全なそれではないためこのたびの調査依頼となったわけです。当然のことながら情報はお寺が責任を持って厳重に管理いたします。各家の佛さまを菩提寺がしっかりと後世までご供養をさせていただくためにも、正確な情報の提供をお願いする次第であります。今年4月29日に行われます施食会までに、当寺へご提出をお願い申し上げます。

とくべつきこう そうじじさいじょうじさんばいりょこう

【特別寄稿】 總持寺最乗寺参拝旅行に参加して

富井己侑、孝介親子



しよどうはいかん

↑ 大本山總持寺での諸堂拝観

10月29日(土)朝7時に仁叟寺を出発。大型バス二台で高速自動車道を走り午前10時ごろ大本山總持寺に到着しました。

大本山總持寺では寺の方の案内で、参拝と諸堂拝観をしました。あまりの広さに迷子になるくらい大きな建物で、特に百間廊下はピカピカと輝いていました。位牌堂は一般には入れないそうで、千畳敷の部屋に沢山の位牌が並んでいる様子は一人一人が皆見ているようで身の引き締まる思いがしました。昼食は三松閣という建物で精進料理を頂きました。ご飯、

味噌汁、漬物、天麩羅などなど。どれも肉や魚類を一つも使っていないそうで、常日ごろ自分たちがあまりにも贅沢に物を使っているのに反省するばかりでした。食べた後も一切れの沢庵を使ってお茶を入れたお椀をきれいに洗って返すなど無駄のない作法に驚きもしました。味も美味しくまたとても勉強になりました。

大本山總持寺を出て次は大雄山最乗寺へ。杉並木の道をバスで登っていくと大きなお寺が見えてきました。いくつかある建物は古いけれど手入れの行き届いた素晴らしいお寺でした。御祈禱所で御祈禱をしていただき、清々しい気持ちでお堂を出ると天狗さまが使われていた大きな下駄が安置さ

れていました。その大きさに吃驚しました。別のお部屋で山主様のお話を聞かせていただきました。見るからに優しく穏やかな生きた佛様のような方に見えました。話が終わって手を合わせ頭を下げるのが自然にできた自分がそこにいました。二つのお寺の参拝のおかげだと思います。

午後4時ごろ大雄山最乗寺を出発。夜8時半ごろに吉井へ到着しました。関係者の皆様、楽しい思い出をありがとうございました。

大雄山最乗寺での記念撮影→



行雲流水 (編集後記)

編集人 住職 渡辺龍道

明けましておめでとうございます。昨年是中国五台山顛通寺と大本山總持寺最乗寺の参拝研修旅行がありました。参加をいただきかつ原稿を書いていただいた出牛さん、富井さんには特に感謝を申し上げます。ほか、去年の流行語にも選ばれた

「ブログ」を拙僧も開設いたしました。宜しければ、ご覧下さい。アドレスは以下の通りです。
http://blogs.yahoo.co.jp/jiunzan_ryugenji
本年もまた宜しく願い申し上げます。

